

赤い羽根共同募金

12月8日～12月15日の期間、「赤い羽根共同募金」を朝の登校時間に行いました。生徒会長が赤い羽根共同募金とは、どのような募金なのかを全校生徒に説明し、1月から任期が始まる新生徒会役員と一緒に募金の呼びかけを行いました。

12月8日～12月15日は 赤い羽根共同募金 が行われます



《ルーツ》

・共同募金のルーツは、はるか昔のスイスの深いまちに あります。ある日牧師がまちに箱を置きました。そこには「与えよ 取れよ」と書かれていました。
「食べ物に足りていて、誰かに分け与えることができる人は、箱に箱に食べ物やお金を入れなさい。」
「今日、食べるものにも困っている人は、箱から食べ物やお金を取っていきなさい」

この箱は現在の共同募金にもつながる3つのキーワード「匿名」、「任意」、「信頼」で成り立っています。匿名-決められた誰かを助けるのではなく、助けを必要とする人のためにあります。与える人も公表する必要はありません。

任意-与える人も、取る人も、参加するのは自由です。

信頼-道端に箱があれば、

取りて貰う人もいたかも知れ

その箱がどういう意味か

仕組みでした。

・日本の「赤い羽根共同募

太平洋戦争が終わって、

合いの「赤い羽根共同募

・「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボル
・アメリカの先住民は、色々な色の羽根飾りを頭につけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が赤い羽根をつけていたとされています。

《他の募金は何の色の羽根?》

緑の募金 - 森林づくりの活動に

青い羽根募金 - 海で事故にあった人を助けるために

海の羽根募金 - きれいな海岸を次世代に残すための活動
や研究に(水色と白) など



生徒会長 作成

